

シビックプライドのあるまちづくり 歴史を受け取り未来を拓く

伊藤香織

東京理科大学

自己紹介

伊藤香織

東京生まれ/育ち

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻
攻博士課程修了

博士（工学）

都市の研究をしています

専門は、都市の空間と情報のデザイン、
空間情報科学

年間新たに30~~20~~都市訪問・調査を
目指す。現在472都市（20年弱）。

2002年より

東京ピクニッククラブを共同主宰

2006年より

シビックプライド研究会を主宰



写真：鈴木豊

シビックプライド (civic pride)

都市に対する市民の誇り

ここをより良い場所にするために自分自身が関わっているという意識を伴う、当事者意識にもとづく自負心だと言える

「シビックプライドがなければ、互いを尊重し自治能力を持つコミュニティへの意欲は頓挫してしまう。シビックプライドによって、その**動機**、**ひらめき**、**報い**がもたらされる。シビックプライドは、**集団の行動や個人の自発性の原動力**である。」

(David Miliband, 英国初代地域社会および地方政府大臣)



“ イギリスでは、19世紀に商工業によって勃興した多くの地方都市で、シビックプライドが都市の規範になったと言われている。都市の主役として台頭してきた市民階級（中産階級）は、その富と進歩的な考え方を背景に新たな都市づくりを支えていくことが自分たちの社会的ミッションであり美德だと考えていた。特に彼らのシビックプライドの象徴となったのが、公共建築、文化施設、公園など、都市の新しい空間であった。彼らは建設を呼びかけて世論を形成したり、自分たちで寄付をしたりして、次々と豪華な公共建築を実現させていった。ここでは建築がある種のメディアになっていたと捉えられる。シビックプライドは個人の都市に対する感情とも言えるが、建築のようにシンボルとして具現化され、誇れるものとして共有されることで、シビックプライドが都市の規範と言われるまでになったと考えられる。

伊藤香織（2017）、不動産とシビックプライド：

より良いまちを自らの誇りとする（談話室）、月刊不動産流通 2017年7月号。

”



Manchester Town Hall, 1877



St. George's Hall, Liverpool, 1854



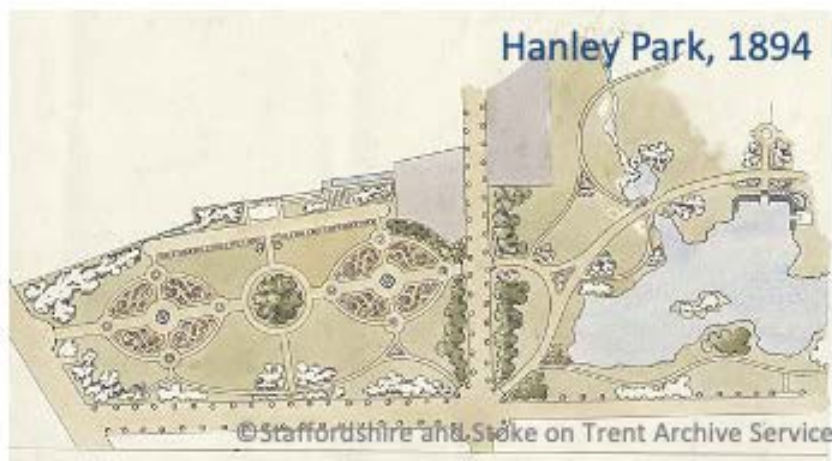
Bradford City Hall, 1873

100年前、多くの公共建築は英国の都市のプライドであった。学校、駅、郵便局、図書館などが、建築デザインの高水準の規格となり、民間セクターがそれを見習おうとした。シビックプライドをこよなく体現するものであったのだ。

(トニー・ブレア、『より良い公共建築』序文, 2000)



Leeds Town Hall, 1858



Hanley Park, 1894

©Staffordshire and Stoke on Trent Archive Service



St. George's Hall, Bradford, 1853

よくある誤解?

「私の都市では、三英傑がシビックプライドです」

→ それは所与の殿様自慢であって、“シビック”プライドではないのでは。歴史を引き継ぎ新たな未来を拓いていくことは大事なので、是非“自らが”過去と未来の接点として動くことを誇りにしたいですね。

「あの都市は高所得者が多くシビックプライドが高い」

→ どこで測っても同じひとつの指標（特に経済的指標）で測りきれないのがシビックプライドです。ヴィクトリア都市の有産階級市民も、財を蓄えたこと自体ではなく、それを使って都市の文化を育てていくことこそがシビックプライドだと考えていました。多様なシビックプライドを見出せるはずです。

「シビックプライドを活用したプロモーションをしたいです」

→ 「市民のシビックプライドにつけ込んで事業に利用する」という意味でしょうか。シビックプライドは市民としての心持ちだったり、都市が湛える矜持だったりするもので、活用する道具ではないのでは。

海外文献にみるシビックプライドの源泉

カテゴリー	内容 (地域)
建築	ランドマーク建築 (米), アイコニックな建築 (欧), 文化財建築 (欧), デパート (米)
文化施設	美術館・博物館 (英) (一) (一) 劇場 (中南米)
公共施設	病院 (英) (米) 図書館 (英)
オープン スペース	公園 (英) 公園と公共空間 (米) ガーデン (英) オープンスペース (欧)
地区	ダウンタウン (米) (米) (加) 黒人地区 (米)
インフラ	地下鉄 (米) 都市下水道システム (一) 水道設備 (中東)
学校	大学 (英) (米)
文化	音楽祭 (英) パフォーミングアーツフェスティバル (豪) パブリックアート (英)
産業	工業の風景 (加) 最新医療 (米)
スポーツ	野球チーム (米) (米) アイスホッケーチーム (米) スポーツイベントやプロスポーツ チーム (米) 人気スポーツ (米) 大規模スポーツイベント (一) スポーツイベント (欧)
植物	街路樹 (加) バラ (ア)
食	チーズ (欧)
その他	コミュニティキッチン (中南米) マウンド (中南米) ジオパーク計画 (中東) 壁画 (中南米)

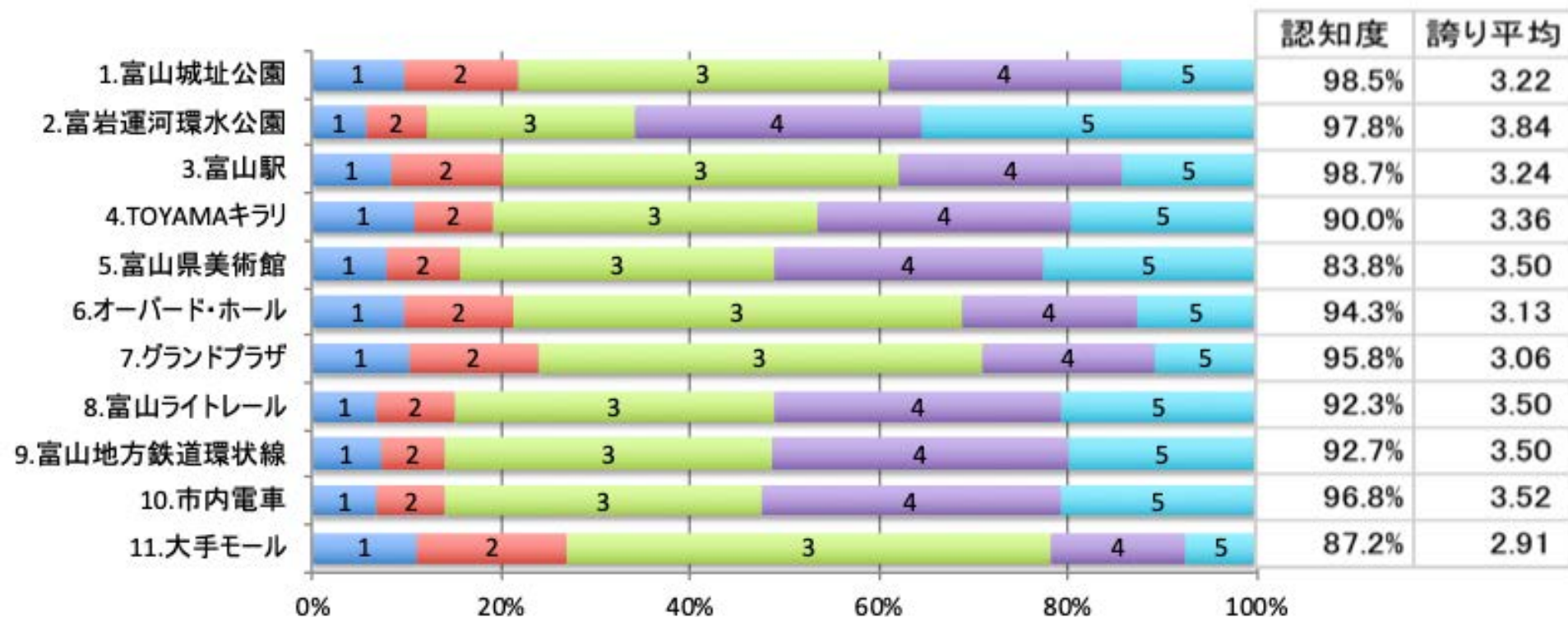
(英) イギリス, (欧) イギリス以外のヨーロッパ, (米) アメリカ, (加) カナダ, (中南米) 中南米,
(中東) 中東, (ア) アフリカ, (豪) オーストラリア, (一) 特定の地域ではなく一般

「市民として誇りに思う〇〇」 富山地域の事例

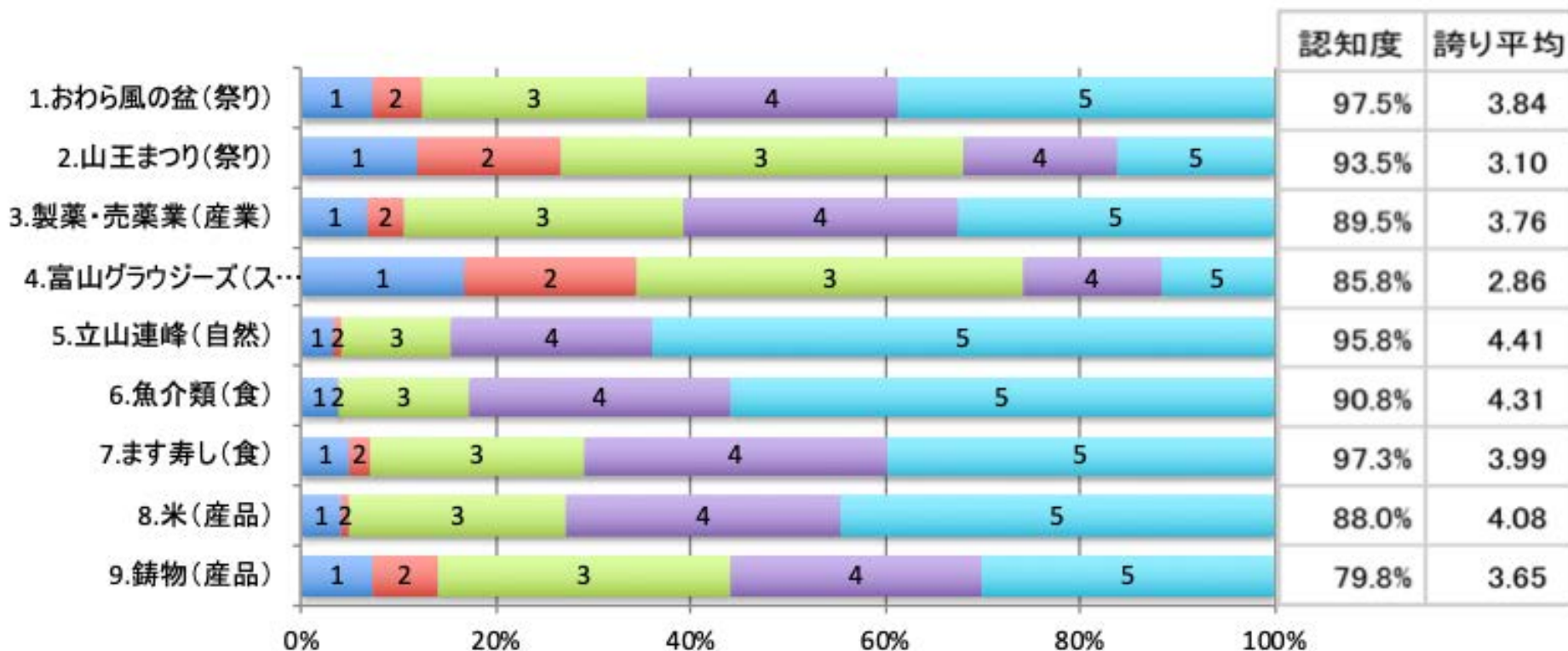
建築物	TOYAMAキラリ 24, 富山電気ビルディング 8, 富山県富岩運河環水公園, 環水公園内スターバックスコーヒー 各6, 黒部ダム 4, 富山県庁, 富山駅, 富山城, 新湊大橋 各3, 瑞龍寺, オーバードホール 各2
文化施設	富山県美術館 28, オーバードホール, 富山県水墨美術館 各11, 富山市ガラス美術館 7, 富山市科学博物館 6, 富山市立図書館, TOYAMAキラリ 各5, 富山県立近代美術館 4, 高志の国文学館 3
オープンスペース	富山県富岩運河環水公園 78, 富山城址公園 9, ファミリーパーク 3, 常願寺川公園, 呉羽山公園, 太閤山ランド 各2
地区	八尾 14, 富山県富岩運河環水公園 8, 呉羽, 立山山麓, 富山市 各6, 富山駅北, 岩瀬 各5, 城址公園, 五箇山 各4, 氷見市, 婦中町 各2
交通機関	富山ライトレール 48, 市内電車 36, 北陸新幹線 11, 富山地方鉄道, セントラム 各5, 富山空港 3, 黒部峡谷鉄道 2
学校	富山大学 29, 富山高校, 富山中部高校 各4, 富山医科薬科大学 3
芸術	ガラス工芸 18, おわら 11, 富山県立美術館 7, 富山県水墨美術館, 螢川 各3, 富山市ガラス美術館, 麦屋節, オーバードホール 各2
イベント や祭り	おわら風の盆 74, 山王まつり 11, 全日本チンドンコンクール 9, 富山まつり4, 岩瀬曳山車祭, となみチューリップフェア 各2
産業	製薬・売薬 52, YKK 7, アルミ産業, 鋳物 各6, 農業 5, 漁業 3
スポーツ	富山グラウジーズ 35, カターレ富山 14, 富山サンダーバーズ 6, 富山第一高校サッカー部 4, 朝乃山, サッカー, バドミントン, スキー 各3
自然環境	立山連峰 96, 立山黒部アルペンルート, 山と海 各6, 山 5, 水, 称名滝 各4, 黒部ダム, 黒部峡谷 各3, 富山県富岩運河環水公園, 蟹気楼 各2
食	ます寿し 35, 魚・魚介類 34, プリ 26, 白エビ 18, ホタルイカ, 寿司 各9, 昆布め 5, 刺身 4, 黒作り, 富山ブラック 各2
産物	鋳物 19, ホタルイカ 11, 白エビ, 米 各10, プリ 8, ガラス工芸, 雷鳥 各6, 昆布め, くすり 各5, アルミ製品, 魚, 呉羽梨 各4, ますのすし 3, 黒作り, 井波彫刻 各2
歴史遺産	富山城 16, 五箇山 10, 内山邸 4, 合掌造り, 瑞龍寺, 高岡大仏 各3, 反魂丹, 立山, 黒部ダム 各2
その他	富山県富岩運河環水公園, 方言, 立山連峰 各7, 水 6, 自然 4, アルペンルート, ます寿し, 山・海・川 各3, 海産物, おわら, 治安が良い・自然災害が少ない, 松川, 食べ物, 真面目で勤勉 各2

- [source of civic pride, 海外]
都市環境, スポーツ, 文化などがシビックプライドの源泉と認識されている. いずれも人の創り出した事物である. もともとシビックプライドは都市的な概念であり, 人々が地域に関わり地域に介入することに関係している.
- [市民として誇りに思う○○, 富山]
海外の文献では見られなかった自然や (加工食品ではない) 食が非常に多く挙げられた. また, 外からの評価も誇りに影響すると推測.

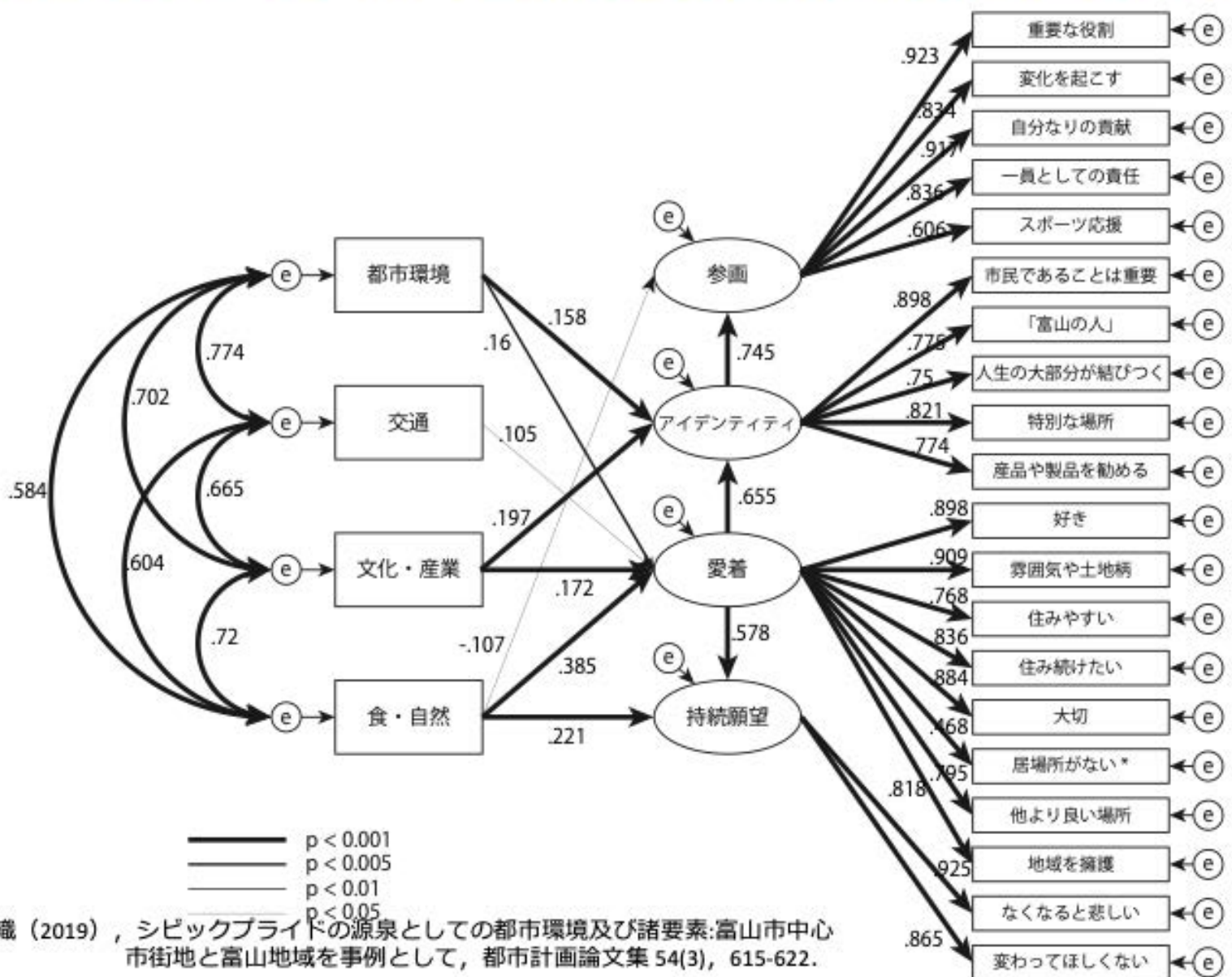
都市環境事例の誇り度合いと認知度



都市環境以外の事例の誇り度合いと認知度



シビックプライドの源泉がシビックプライドを高める共分散構造分析モデル



伊藤香織 (2019), シビックプライドの源泉としての都市環境及び諸要素:富山市中心市街地と富山地域を事例として, 都市計画論文集 54(3), 615-622.

シビックプライド自体をデザインして、市民に与えることはできない。シビックプライドは個人の中で醸成されるものだからである。デザインすべきは、シビックプライドの形ではなく、シビックプライドを醸成するためのコミュニケーションである。

『シビックプライド：都市のコミュニケーションをデザインする』

都市は、さまざまな異質なものを含め非常に多くの要素を許容し、包含しているから、かかわりの可能性に満ちている。シビックプライドの考え方の良いところは、都市の多義性に呼応して、また前述した広がりのように、裾野が広く誰もが持ちうることだ。狭義の「まちづくり」が「意識の高い市民」のものとして捉えられているのと対照的だと言えよう。

『シビックプライド2 [国内編]：都市と市民のかかわりをデザインする』

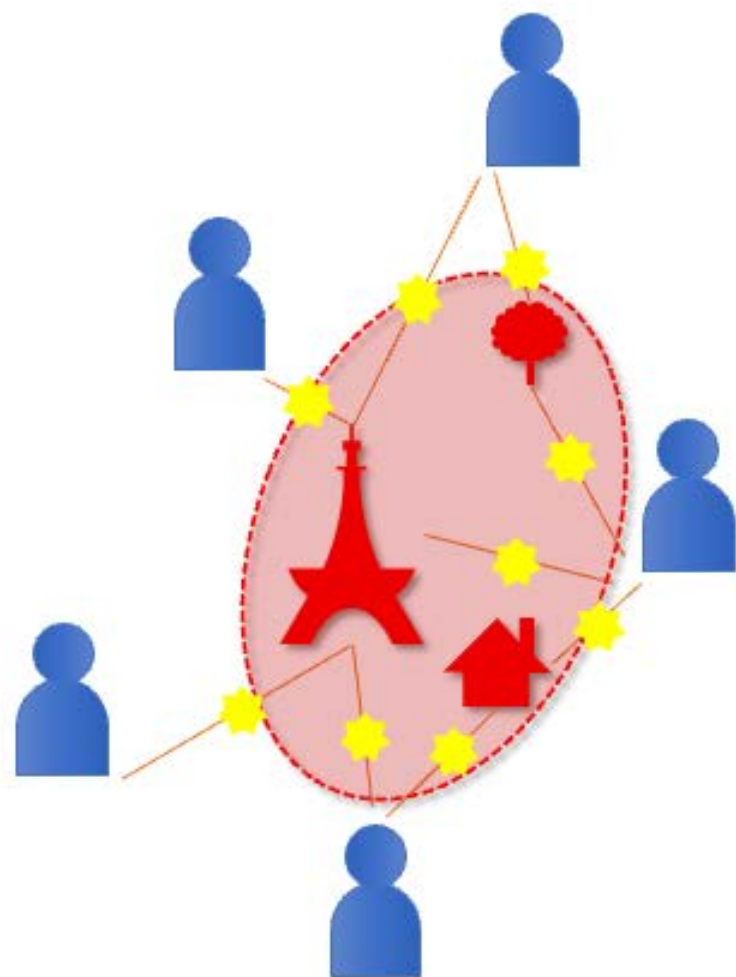
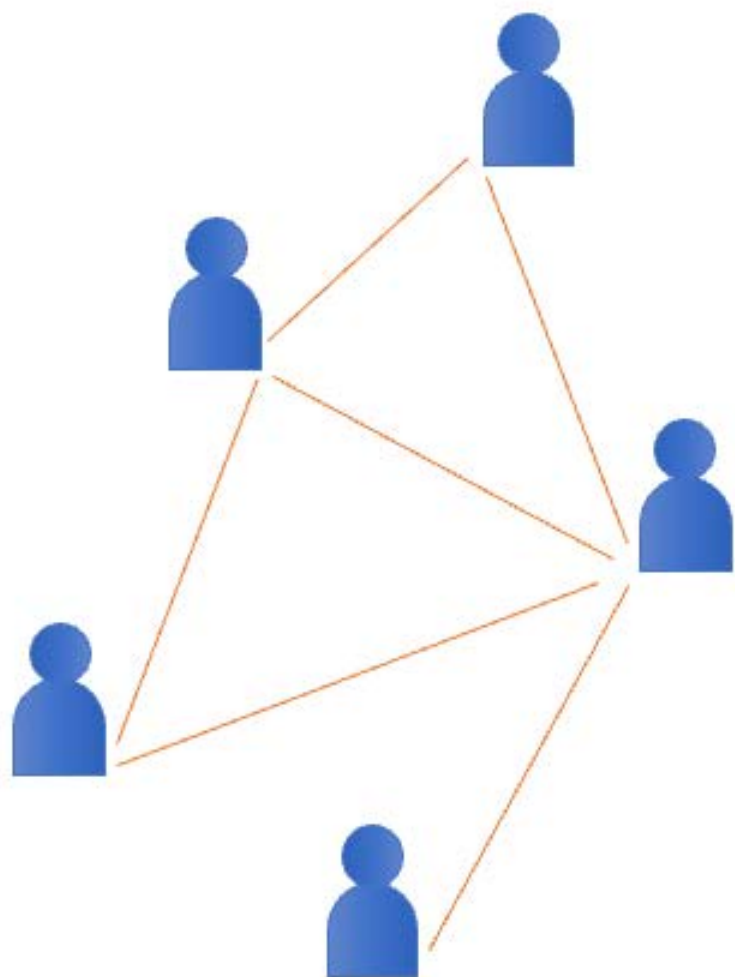


2008年11月刊行



2015年9月刊行

コミュニティとシビックプライド



2部グラフ

まちと私の関係を築く

まちを知る

オープンハウス・ロンドン（英国）

毎年9月のある週末に開催されるオープンハウスロンドン・ウィークエンドでは、市内の新旧様々な700以上の建築物（オフィスビル、個人住宅、工事現場など）が無料で一般公開される。子供用のプログラムを含む様々なイベントも行われる。このイベントによって建築、都市公共空間、都市デザインへの理解を促し、豊かな建築資源を都市の自信とアイデンティティに繋げる。

「建築は、街の文化、アイデンティティ、パーソナリティの象徴である」（director of Open City）



オープンハウスのコンセプトは 以下のプロセスで理解される

- 体験 experience

↓
写真などのメディアを介さない直接的な空間の体験。良くデザインされた建築・都市が人々の暮らしをより良くすることを体現している空間を体験すること。

- 対話 dialogue

↓
直接的な体験が、建築や都市デザインの価値に関する対話を生み、知識を共有する機会となり得る。専門家とユーザの断絶に橋をかける場をつくっていく。

- エンパワメント empowerment

↓
都市のデザイン、開発、そして管理に誰もが関与しているのだということに気付く契機となる。都市は「シェア」されており、市民は都市を変える力を持っている。

- アドボカシー advocacy

理解を育むことで、市民がより良くつくられた構築環境の支援者・唱道者となることが促進される。建築による環境的、社会的、経済的な持続可能性や、住民の健康を最大限に目指す「人中心の」デザインなどに結びつくだろう。

Open House London 2016



Open House London 2016



オープンシティは、年間を通じてロンドン市民に建築文化の豊かさを伝えリテラシーを身につけてもらうための活動を行っている。

主たる対象は、一般市民、子ども、政策立案者。特に、子供たちに対しては、ワークショップ、コンテスト、ウェブサイト、出版物など多彩なプログラムを展開し、都市の未来を担う市民の育成に力を入れている。



Open House Worldwide

OPEN CITIES

Click on each city to see upcoming festival dates and learn more



Athens



Barcelona



Basel



Lisbon



Madrid



London



Rome



Rosario



San Diego



Bergen



Bilbao



Brisbane



Maputo



Melbourne



Malaga



Santiago



Seville



Seoul



Brno



Buenos Aires



Chicago



Mexico City



Montreux



Milan



Slovenia



Stockholm



Taipei



Colombo



Copenhagen



Dublin



Naples



Osaka



New York



Tallinn



Thessaloniki



Turin



Essen



Gdansk



Göteborg



Oslo



Palma



Perth



Valencia



Vienna



Vilnius



Helsinki



Lagos



Hsinchu



Porto



Prague



Queretaro



Zagreb



Zurich

COMING SOON

Bern, Switzerland
Miami, United States
Queretaro, Mexico

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪（イケフェス大阪）

大阪のまちでは、大正時代・昭和初期に建てられたモダンな洋風建築，高度経済成長期に建てられた建物等，各時代を代表する魅力的な建物が集積し，様々な形で変化・発展しながら，活用され続けている。こうした普段何げなく使われている大阪の“生きた建築”が扉を開く2日間。建物オーナーが説明をする。日本最大級の建築公開イベント。



生きた建築
ミュージアム
フェスティバル
大阪

2016

14722 20161

MUSEUM FESTIVAL
ARCHITECTURE
OSAKA

2016年11.5土-6日
10.30時-18時

今年は総勢76件が参加!

GUIDE BOOK
公式ガイドブック ¥300





オープンナガヤ大阪
opennagaya-osaka.tumblr.com

町家大公開 9/16(土)

1 浅野屋敷 (Asano) 10:00-11:00	2 浅野屋敷 (Asano) 11:00-12:00	3 浅野屋敷 (Asano) 12:00-13:00
4 浅野屋敷 (Asano) 13:00-14:00	5 浅野屋敷 (Asano) 14:00-15:00	6 浅野屋敷 (Asano) 15:00-16:00
7 浅野屋敷 (Asano) 16:00-17:00	8 浅野屋敷 (Asano) 17:00-18:00	9 浅野屋敷 (Asano) 18:00-19:00
10 浅野屋敷 (Asano) 19:00-20:00	11 浅野屋敷 (Asano) 20:00-21:00	12 浅野屋敷 (Asano) 21:00-22:00

町家保存会 町家保存会 町家保存会

ひと・わだ・暮らしの町家展

金澤町家巡遊 2016
 イベントガイド
 9/18(日) - 25(日)
 彦三町家にて

www.kanazawa-machiya.net/mj/

金澤町家巡遊
kanazawa-machiya.net/mj/

オープン工場

すみだは工場見学の名所なのだ

職人との出会い

工場見学ツアー

工場自慢のおみやげ

すみだファクトリーめぐり

スミファ

11月15日(土)・16日(日)

すみだは多種多様な品物を作る工場がいっぱい。今回のスミファでは、その中でもデザイナーとのコラボレーションなど時代の先を行く商品開発に取り組む工場をあゆませます!

同時開催のイベントもチェック!

<p>ものづくりコラボレーション展示会</p> <p>開催日時: 15日(土)13:00~18:00 16日(日)11:00~18:00</p> <p>開催場所: ままやギャラリー 墨田区横川1-1-10</p> <p>開催内容: 展示会・トークショーほか</p> <p>詳しくは http://www.sumifa.jp/</p>	<p>すみだ 3M運動 30周年</p> <p>本物の職人とふれあえる、大規模イベント</p> <p>11月15日(土)・16日(日)10:00~16:00 入場無料</p> <p>すみだ産業会館サンクスイスホール【マルイ墨田町店5F】</p> <p>墨田区江東橋 3-9-10</p> <p>詳しくは http://sumida-cc.com/3m/</p>
--	---

大田の町工場を一斉公開
—職人が一番しゃべる一週間—



OTA OPEN FACTORY

第6回 おおたオープンファクトリー

11月26日(日) 10時~16時
東急多摩川線「武蔵新田駅」・「下丸子駅」周辺

12月3日(日) 10時~16時
小田線「小田駅」周辺

参加無料
予約不要

—展示場・予約なしのプログラムあり

工場歴バスターや団体との連携企画など、平日企画も充実! 最新情報はWEB上で [おおたオープンファクトリー](#) 検索

〒110-8501 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカズビル10F TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
〒110-8501 東京都港区赤坂1-1-1 赤坂サカズビル10F TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

sumida-cc.com/portfolio/すみだファクトリーめぐり「スミファ」/ ota-tokyo.com/ja/おおたオープンファクトリー/

参考: オープンシティ研究会 (2017) 『まちをひらく技術』, 学芸出版社

身近な環境の価値や開かれたまちの未来を**知る**ことで、自分でできること、自分の持つ力に気付くことができる。

まちを言祝ぐ

百歳市民

Happy Birthday
100th!



大通公園

札幌市, 札幌大通まちづくり株式会社

大通公園100歳記念 バースデーパーティー

札幌

1,900,000

札幌市民に愛され、2011年に整備から100周年を迎えた大通公園を、100歳の市民としてお祝いするバースデーパーティーを開催。日中はランチパーティー、夜はテレビ塔をバースデーケーキのろうそくに見立てて消灯、ライブなどで盛り上げた。公園の清掃や飾り付けにも多くの市民が参加した。



市内の有志パティシエたちによる特大バースデーケーキが登場!

札幌市中央区「まちのモト」vol.8 (2012)

建築がつくられることは、本来的に晴れがましいものである。そのことは、上棟式の餅撒きや竣工式のテープカットというしきたりにも表れている。これらのしきたりは、建築をお披露目し、地域で共有する役割も果たしている。扇屋旅館再生計画では、一旅館の改修ながら、地域活性化の起点となることを目指し、近年行われなくなっていた餅まきも行った。



村上

62,000

扇屋旅館（設計：SALHAUS）



Grand Rapids LipDub

Grand Rapids, USA

190,000

ニュースウィークにグランドラピッズが「死にゆく都市」として取り上げられたことに対する反論として、都市の情熱と活力を伝えるために、まちの人々によって作られたミュージックビデオ。中心市街地で5000人の市民が参加して、「アメリカン・パイ」の曲を口パクで撮影。多くの地元企業が撮影費用を提供している。



まちの問題点を解決するだけでなく、**良いところ**を探して、
声に出してかたちに表して**褒め**よう。まちが**家族や友人の**
ようになり、それが広がっていくきっかけになる。

まちを使う

Todmorden, UK

15,000

Incredible Edible Todmorden

地産の食を育て促進する活動の一環で、公共空間・私有空間を問わず、まちなかに食べられる植物を植えて育てていくNPO活動。歩道、運河沿い、駅、駐車場、学校、遊休地、警察署、公共施設など、土のあるところなら（なくてもプランターを据えて）どこでも。環境の悪い場所などには特に積極的に関与する。野菜、果物、ハーブなどを栽培し、誰でも自由に収穫して良い。食や環境の啓蒙だけでなく、地域愛着を育てるきっかけにもなっている。









まちを**使う**ことで、「**自分の場所**」にしていく.

まちに関与する

「町並み修景事業」 (1980～1987)

建築家の宮本忠長氏をコーディネーターに、古い建物をただ保存するのではなく、もとの景観を活かしつつ新たな景観を創っていった。民間の複数地権者でエリアの構想を作り、行政主導ではなく、行政、法人、個人が対等な立場で進めていった。産業をまちなかに残し、混在性のあるまち並みを残した。この中で「外はみんなのもの、うちは自分たちのもの」の精神が培われていった。

小布施

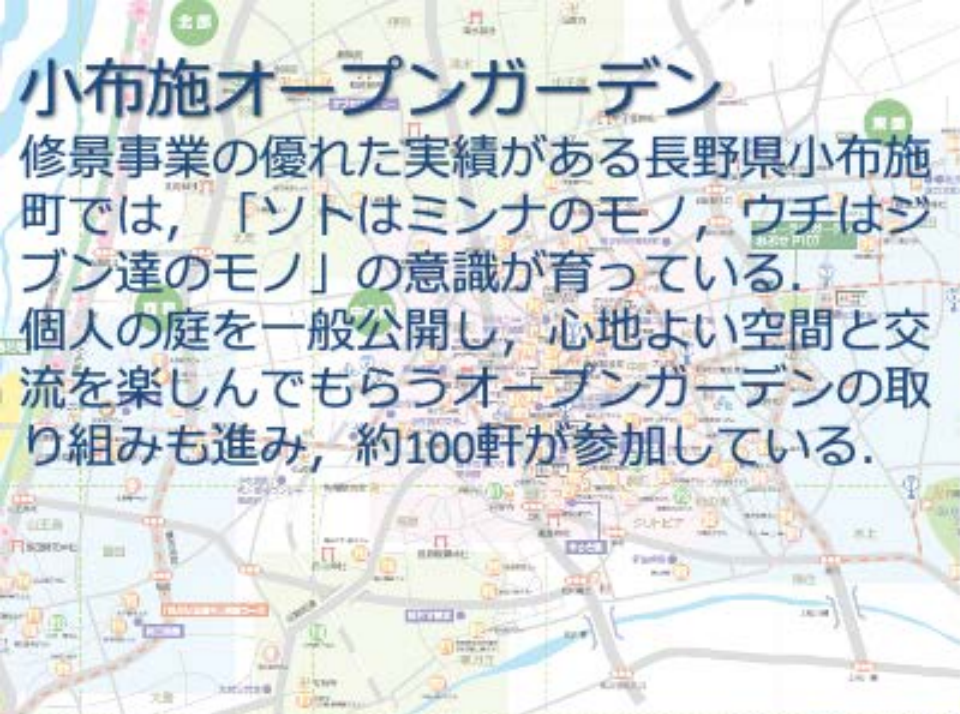
11,000



小布施オープンガーデン

修景事業の優れた実績がある長野県小布施町では、「ソトはミンナのモノ、ウチはジブン達のモノ」の意識が育っている。

個人の庭を一般公開し、心地よい空間と交流を楽しんでもらうオープンガーデンの取り組みも進み、約100軒が参加している。



お庭の花木

観木：アケボノ、コボヤクサ、クワヤクサ、トハ、ツツシ、ランリョウ、サン



お庭の花木

観木：アケボノ、コボヤクサ、クワヤクサ、トハ、ツツシ、ランリョウ、サン



お庭の花木



お庭の花木



お庭の花木

観木：メグスリノキ、アジサイ、ケヤキ、コメツガ、サツキ、マンサク、コブシ、エゴノキ、ヒュウガミズキ、ダンコウバイ、ツリハナ、ドウダンツツジ、カシ、レンガツツジ、ヤマボウシ、ハナミズキ、ハクウンボク、ニシキギ、ミツバツツジ、ユキヤナギ、タラヨウ、フジ、ヤマザクラ、アセビ、ナツハゼ、マロニエ、エニシダ、ライラック、モミジ、ムクゲ、ソロ、ソヨゴ、ナツツバキ、バラ、ビワ、フナ、レンギョウ、ボタン

多年草(宿根草)：フクジュソウ、スイセン、アイリス、ショウブ、フクキソウ、ムスカリ、キク、アキハヒキ、千早草、ヤブコウジ、キキョウ、ユリ、クリスマスローズ、スズクサ



お庭の花木

観木：ロウバイ、マンリク、ハクレン、シレン、コブシ、サンシュ、ミツバツツジ、ヒカゲツツジ、レンギョウ、トサミズキ、ヒカゲミズキ、アセビ(ピンク・白)、シヤクナガ、ツバキ、ハナデマリ、コデマリ、ユキヤナギ、チョウジツバキ(紅・白)、イボケ(紅・白)、アジサイ、ムクゲ、ネコヤナギ、ヤマボウシ、フナ空株、アンズ、カキ、モモ、オウ、ウメ、カシワ、ナンテン(紅・白)、スズクサ

多年草(宿根草)：ゼツラン(黄)、フクジュソウ、スノードロップ、シェラン、シラン、シクラソウ、カタクリ(黄・ピンク)、イチリンソウ、ネシバナ、ショウマ、イカリソウ(ピンク・白)、カンアオイ、サイシン、アマガサユシ、エビネ、オダマキ、アステルベキ、キリウシ(数種)、ホトギス(数種)、フロックス(数種)、ユリ(数種)、スイセン(数種)、クリスマスローズ(数種)、ツツブキ、スズクサ、ハギ、スズキ、キキョウ、ナデシコ、オミナエシ、フジカマ



お庭の花木

観木：モミジ、ヤマボウシ、ヤマツツジ、シダレザクラ、エゾツツジ、ツツシ




小布施中心市街地の回遊路ネットワーク

まちなかの回遊性を高める小さな歩行者道のネットワーク。市管理の道（かつての里道）だけでなく、オープンガーデンの仕組みを活用して、民地の中を通り抜ける回遊路も少なくない。一部の地権者は、市の整備した「栗の小径」と同様に栗の木のブロックで舗装するなど、「ソトはみんなのもの」がさらに浸透している。



クリエイティブに考え自分で動ける市民が育つするには時間がかかる。

まちの文化を体現する



三島市 街中がせせらぎ事業
中心市街地にある水辺や緑の自然空間や歴史・文化などのアメニティ資源を活用し、回遊ルートを整備する。ランドワークの理念に基づき、行政がハード事業、商工会議所がソフト事業、NPOが身近な環境改善、市民ボランティアが里親等の清掃作業やガイド、一般市民は緑化をおこなうという、官民一体型の協働事業。水が人々の暮らしに身近なものとなり、せせらぎに馴染んだ生活スタイルがまちの文化を創り出している。



三島市 街中がせせらぎ事業



三島市街中がせせらぎ事業



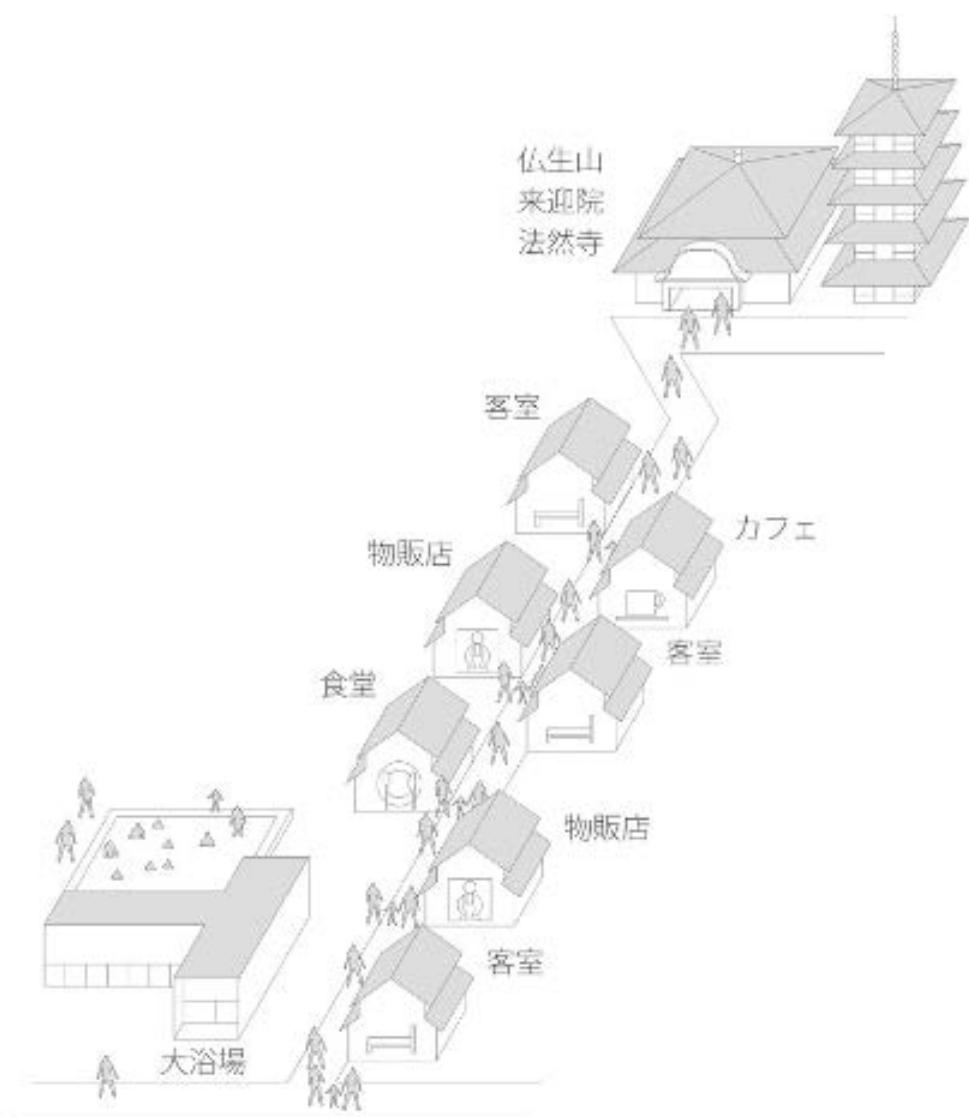
三島市街中がせせらぎ事業

まちの文化として浸透することで、すみずみからそのまちらしさが発信される。

まちを妄想する

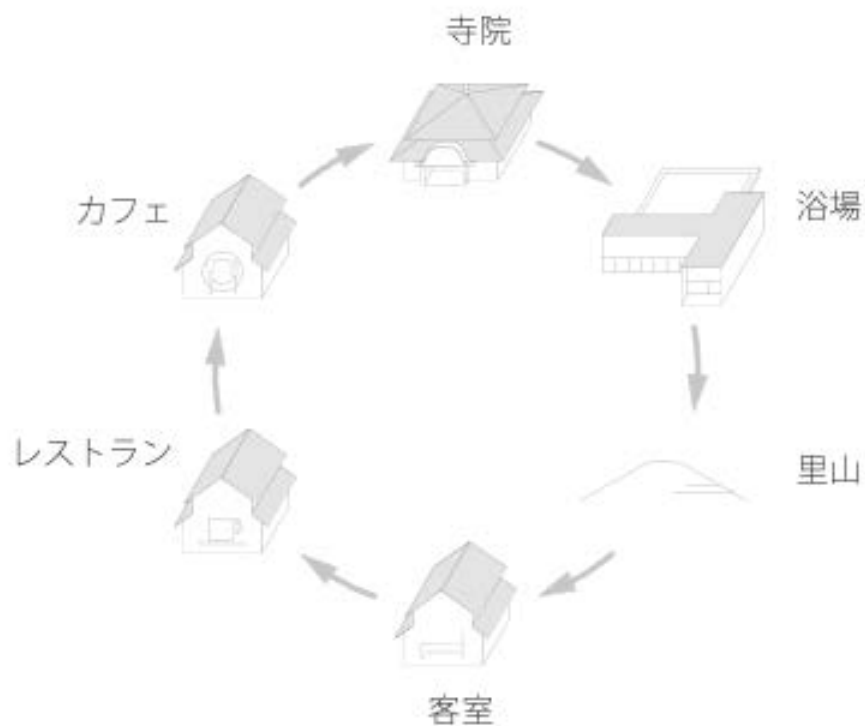
420,000 (7,700)

高松市の郊外、門前町として江戸時代から栄えた仏生山の旧市街に温泉がオープンした。仏生山温泉の設計者であり「番台」を名乗る岡昇平氏は、温泉を「大浴場」としてまち全体をひとつの旅館に見立てる「まちぐるみ旅館」構想を持つ。構想を知ってか知らずか、カフェ、雑貨屋、ギャラリー、ライブラリー、地域の食と物語を届ける商店などがオープンし始めている。古書店や宿泊できる場所もできた。まちを巻き込む魅力的な妄想を実現していけるクリエイターのいるまちは、幸せだ。そうした人材は、あちこちに隠れているはずだ。



仏生山まちぐるみ旅館とは、
まち全体をひとつの旅館に
「見立てる」こと。

実際に旅館という建物は無く、
客室や大浴場、食堂、カフェ、
物販店などさまざまな役割が
まちの中に点在し、道を廊下と
することで旅館の機能を担う。
既存の店舗や空家を飲食店など
に再生しながら10年かけて
まちの価値や魅力を重ね合わせ
る取り組みである。



2012年の4月にまちぐるみ旅館
のひとつめの客室となる

「縁側の客室」が開業。

「縁側の客室」は住宅を
リノベーションした1日1組の
1棟貸しタイプの宿泊施設である。
既存の仏生山温泉に入浴し、

「縁側の客室」で宿泊し、
朝は公園を散策し、カフェや
うどん店で朝食を食べるとい
う、まちと旅館を巡りながら楽しみ、
暮すように滞在する流れが小さい
ながらも始まっている。



へちま文庫 (古本)



縁側の客室 (宿泊)



Toytoytoy (雑貨)



四国食べる商店 (食)

なぜ、まちぐるみ旅館を
始めたのですか？

○にやにやしながら暮したい。

○毎日でも通いたいおいしいごはん屋さんや、
コーヒーを飲みながら読書ができる
素敵なカフェがあって、
住民が楽しんで暮していけるまちがいい。

○湯上がりの笑顔と、こどもの笑顔。



ことでん
おんせん



ことでおんせん
乗車入浴券 1,000円



※乗車券
※おんせん券
※おんせん券
※おんせん券



ことでおんせん
乗車入浴券 1,000円



※乗車券
※おんせん券
※おんせん券
※おんせん券



仏生山まちいち

小さなお店が町家の軒下に



どんな時代にも、**妄想力**が新しい世界を拓いてきた。**未来**
は開かれている。

まちで自己実現する

上古町商店街（カミフル）、新潟

新潟中心市街の旧中心商店街のひとつ。1970年代に新潟駅周辺の開発が進み、新しい大型商業集積が作られたことなどがきっかけに衰退、シャッタータウン化。しかし、2000年代に入って、家賃の安さや商店街の古い建物の雰囲気（1955年の新潟大火で焼け残った）に惹かれた若者たちが次々に出店し、古い商店のリノベーションをしながらオリジナリティのある店舗を展開しつつある。





31rexblog.jp

地域商品の開発

地元で作られてきた商品に、まちで活動する若者がデザインを施し、新しい地域商品を開発、上古町商店街がひとつの流行発信基地になっている。

- 商店街に出店したデザイナーと商店街の老舗和菓子屋とコラボレーションしたウェディング用饅頭
→全国的な人気商品に
- 長岡造形大の学生がデザインし新潟市の染め物業者が製造した手ぬぐい
- 商店街のロゴを作り商店街オリジナルグッズを展開

など...





Åhus, Denmark

270,000



オーフスは、2017年の欧州文化首都開催を機に、ボランティアReThinkersが発足し、欧州文化首都終了後もまちの案内や様々なプロジェクトのボランティアに活躍している。ボランティアに「私のまち」「私のイベント」というオーナーシップが形成されることによって、市民一人ひとりのアイデアと責任感が発揮される。



European Capital of Culture 2017 Århus



欧州文化首都は、EU（当時のEC）により1985年に発足した制度。毎年加盟国の中から都市を選んで「欧州文化首都」に定め、1年を通して様々な芸術文化に関する行事を開催する。欧州統合の中で、文化の多様性を守ることが重要であると考えられている。



ボランティア・マネージャーのUlla Lund氏は、ボランティア・マネジメント・モデルの三本柱として、アイデンティティ、コミュニティ、動機が必要だと言う。

「ReThinkers」という名称をつけ、様々な方法でイメージを伝えることで、アイデンティティを形成して、リクルートする；「GeLinde」という拠点を作り、ReThinkersからチームリーダーを選ぶことでコミュニティを形成して、定着させる；様々なタスクがあるが、そこに意味や意義を見いだせるような情報伝達で動機を与えていく。

まちは人の夢を叶える場所であり、同時に、その人が夢を叶えることがまちの個性を強化することにもなる。

まちと私の関係をみんなで共有する

一緒に見たり, 触ったり, 経験したりできること.
まちなかに現れてくること.



あなた自身があなたのまちなのです